

本トピックは令和2年11月20日「カタハネヨウラクの採捕」として掲載したのですが、当協会西村前理事より本種は「オオウヨウラク」であるとのご教示を受け、訂正のうえ再掲するものです（令和6年12月18日）。

「オオウヨウラク」の採捕



学名 *Ceratostoma inornatus* (Recluz, 1851)、殻高 43.5mm 殻幅 22.3mm 1 個体採捕

令和2年11月17日に行った三枚洲での放流アサリの定着調査で、見慣れない巻貝（生貝）が採捕されました。

調べたところ、貝の摩耗がみられるものの、形状からオオウヨウラクと思われました。本種の分布は北海道～九州、朝鮮半島となっていますので、東京湾奥に生息していても不思議はないのですが、当協会の調査ではこれまで採捕されたことはありません。三枚洲の調査区域には、先月10月21日にアサリを10トン放流しており、この時の放流アサリに混入してきたのではないかと推測されます。



当協会の調査で採捕された貝で放流アサリに混入してきたと思われるものには、この他にもコケガラスやゴマフダマなどがあります。



コケガラス：平成19年6月 三枚洲



ゴマフダマ：平成31年4月26日 三枚洲